

令和2年度 学校だより

ราชพฤกษ์ ラーチャブルック

4月号

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

泰日協会学校 (バンコク日本人学校)

Thai Japanese Association School

小学部第1職員室 02-314-4151

小学部第2職員室 02-369-2750

中学部職員室 02-314-7335

バンコク日本人学校65年目のチャレンジ

校長 谷口 幸一郎

昭和31年の開校以来、これまでとは異なる環境下で新学期がスタートします。特に初めての学校生活に期待や希望を膨らませていた新1年生にとっては、大変な船出となりました。しかしながら、時が経ち、社会が平穏を取り戻したときに、**これまで以上に充実した教育活動**を展開できることを確信しています。

ところで、通常、何気なく生活を送っている私たちは、これまでできていることは当たり前のことだと考えがちです。失って、はじめてできていたことのありがたさに気づくものです。日常生活が非日常になってしまい、非日常が日常になった今、**考え方を変える必要**があります。できなくなったことを嘆くのではなく、「**できることは何なのか**」を考え、できることを積み上げることで、新しい考え方が生まれてくると思います。

このことは、本校にとっても同じだと思います。このような状況下で教育活動ができるのか。場面は異なりますが、ふと、マララさんの言葉を思い出しました。“One child, one teacher, one book and one pen can change the world.”バンコク日本人学校には「多くの子供がいる、先生もいる、教科書も鉛筆もある。」きっと、ここから世界を変えていけるはずです。通常の授業のようにはいかなくても、例えばICT等を使って**授業を配信**するなど、できる限りのノウハウを使ってチャレンジしていきます。保護者の皆様のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

一方で、子供たちの日常生活については、保護者の皆様のご協力が欠かせません。何よりも**健康管理が一番**ですが、併せて規則正しい生活（特に運動不足が懸念）がおくれるよう、「**家でできることは何なのか**」を親子の話し合いの下、**子供たちに決めさせて、行動**させてみてください。よろしくお願いいたします。

申し遅れましたが、**本年度から**バンコク日本人学校校長を拝命しました**谷口幸一郎**です。本校のために全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

学校からのお知らせ・お願い

- 5月1日より令和2年度が、在宅学習でスタートしますが、現在、谷口校長をはじめ令和2年度派遣教員が来タイできない状況です。通常の約半数の教員で新年度・在宅学習の準備を進めています。また新型コロナウイルス感染防止のため、タイ政府や教育省からも、ネット配信等最小限の教員の出勤しか認められておりません。こうした非常事態の中での学校再開となります。様々な面でのご理解とご協力をお願いいたします。
- 在宅学習のQ&Aを、裏面に掲載いたしました。ネット学習の具体的な利用方法については、別紙「Google Classroom 利用マニュアル」等をご参照ください。在宅学習は、バンコク日本人学校では初めての試みです。タイのネット環境の状況からも、配信に不具合が生じることは大いに予想されます。予定しておりました配信内容が届かなかったり、途中で止まってしまったりすることもあり得ます。もしこうした事態になりましたら、各ご家庭でできる他の学習等に切り替えて進めてください。個別の電話やメールでのお問い合わせが集中しますと、より一層復旧に時間がかかることとなります。不具合がありましたら、しばらくお待ちください。このような場合での個別のお問い合わせは、どうかご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
- タイの非常事態宣言の中、ご家庭におかれましても、新型コロナウイルス感染防止に向け取り組んでいらっしゃると思いますが、万が一、本校の児童生徒・同居のご家族が感染された場合には、直ちに学校へご連絡くださいますようお願いいたします。タイ教育省並びに文部科学省への報告をすることになっております。
- 現在タイ政府や教育省から入校制限が指示されています。ご来校の必要がある場合は、あらかじめメールでご連絡ください。入校時は、保護者証をご持参の上、検温等のスクリーニングを受けていただきます。

○在宅学習について Q&A

Q1 いつから始まりますか？

A1 5月1日（金）から始めます。そして、児童生徒が登校しての学校再開まで続ける予定です。
また、基本的に月曜日から金曜日まで通常の日課を在宅で学習するように計画しております。各家庭におかれましては、児童生徒が朝決まった時間に起床し、決められた内容の学習をすることで、教育課程を履修できるように考えています。しかし、ご家庭によっては日課を調節していただき、無理なく進めていただくことも可能です。

Q2 在宅学習での教科はどのようになりますか？ また、時間割はありますか？

A2 各学年すべての教科で実施する予定で計画しております。ただし、教科の内容によっては、在宅での学習に無理がある場合もありますので、学年内での単元の入れ替えを行う場合もあります。また、在宅学習での時間割は各学年同一で行います。学年の担当教師や教科担当教師が、授業内容を検討して、学年ごとにお知らせいたします。

Q3 どのような方法で在宅学習を進めますか？

A3 本校は児童生徒が多く、また現状のネット環境の脆弱さから、双方向の授業展開が難しい状況です。基本的にインターネットを利用しての動画配信、課題提示等を中心に行います。インターネットの利用については、様々なデジタル教材を活用して、児童生徒が楽しく学べるように工夫します。しかし、実際の学習にあたっては、児童生徒が具体的に操作する場面がとても大切です。終日タブレットやPCの操作をしながら学習するのではなく、以下のような方法も検討しております。いずれにしても、ご家庭でのご協力が必要になりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

- ・ノートやプリントに課題をまとめたり、音読や読書を自分の力で進めたりする。
- ・図工や美術の課題制作、技術や家庭科の実習等を実施する。
- ・家庭内でできる運動をしたり、楽器の演奏や歌を歌ったりする。
- ・総合的な学習で自分なりの課題追究をする。

Q4 在宅学習にはどのような環境が必要ですか？

A4 ネットを通じた学習のプラットフォームは Google Classroom を予定しております。利用方法につきましては、別紙をご参照ください。また、授業で使うデジタル教材については「NHK for School」や自立学習応援プログラム「すらら」等の活用を検討しております。在宅学習に必要な環境としては、まずインターネットにつながるということ、そしてタブレットまたは PC 等操作しやすい機器が必要です（スマートフォンでは一部利用できない教材があります）。なお、兄弟がいて機器の利用が重なる場合は、ご家庭で時間割の変更等でご対応願います。

Q5 タブレットやPCが家庭にはありません。このような場合は、どうしたらいいですか？

A5 タブレットやPCが1台もないご家庭におかれましては、この機会にぜひご購入をお願いいたします。現在、バンコクではネットによる購入が可能になっております。ただし、どうしても難しい場合は、メール (tjas@tjas.ac.th) でご相談願います。可能な範囲で対応いたします。

Q6 在宅学習での評価はどうなりますか？

A6 一日の在宅学習を終えたら簡単な学習の振り返りカード（在宅学習のしおり）に記入し、保護者のサインをいただきます。また、在宅学習における課題はファイル等にまとめて、提出していただく予定です。現時点では、中学部小学部共に、7月に定期テストを実施する予定です。

※ログイン方法や一日の学習の流れについては、別紙資料をご覧ください。